

今回、ヘルスケア歯科学会主催の「健康を守り育てる歯科診療」について＝（ヘルスケア歯科診療に必要とされる知識、技術、コミュニケーションスキル）を上げるために、検定コースに参加させていただきました。

今までも、数々のSRPやシャープニング、接遇などのセミナーには参加してきましたが一つひとつのセミナーはバラバラのコンセプトのため日々の診療すべてに対応できるわけではなかったように思いましたが、今回のセミナーはヘルスケア歯科診療所で担当衛生士

として働くために必要なことを、なぜ学ぶのか？なぜ必要なのか？から入り、すべてを系統的に確認することにより、今までセミナーで受けてきた点と点が、線につながり自分の中で確信に変わり、翌日からの診療が楽しみなものになりました。

セミナーで、心に響いた一言が「きちんとした知識を持たない歯科衛生士

は、自信が持てず続かない」でした。確かに勤務年数が増えてくるにつれて、先輩の数は減っていき後輩が増えるなか、自分に指摘や注意をしてくれる人がいなかったり、自分を客観的に見る機会も減ってきています。そのようななか、はたして私の技術や知識は誰から見ても正解なのかと、不安が募ってきます。それは、年齢を重ねれば重ねるほど感じるものでしたので、今回の検定コースのように確立された基準での認定資格が取得できれば、自信にもつながり、やる気も増してきます。認定資格を取得するためには、まだまだレポートや、症例発表など課題がありますが最後まで頑張って、自信の持てる歯科衛生士になりたいと思っています。

（杉山理恵・わかば歯科医院）

## プロフェッショナル リレー連載 2



### 第1回 鈴木康規（有限会社サンフォート）

こんにちは、口腔内写真のサンフォートの鈴木康規と申します。弊社は口腔内写真専門の会社です。どんな会社かという、社員は家族だけで、カメラはもちろん、撮った写真などをパソコンで管理するソフトの作成や、口腔内写真を撮る際に使うミラーや口角鉤などを作っています。そのほとんどが独自開発した商品です。さらに出張の口腔内写真の撮り方講習会を行っており、毎週、北は北海道から南は沖縄まで全国飛び回っております。もしかしたら、私が社長とお会いしたことのある方もいらっしゃるかもしれませんがね。

紹介が遅くなりましたが、社長は『新口腔内写真の撮り方』の著者である鈴木昇一です。

社長＝父です。私は3人兄妹の長男で、一部の歯科衛生士さんからは「お

兄ちゃん」と呼ばれたりもしています。兄妹全員サンフォートの社員です。家族総出で社長のサポートをしています。と、私の話はこの辺にして、今回から3回に分けて口腔内写真についてお話ししていきたいと思います。

それでは今回は、口腔内写真を撮るうえで大事な周辺機器のひとつ、口腔内写真用ミラーについてお話ししたいと思います。

世の中にはいろいろな口腔内写真用のミラーが販売されていますが、みなさんはどのようにしてミラーを選んでいますか？選ぶ時に気にしてほしいことがあります。それは形、反射率、材質です。特に形ですね。ハッキリ言うてうちのミラーには、こだわりがあります。口腔内写真20年の経験が集約されたオリジナル形状で、とても撮りや

すいです。ミラーひとつで撮りやすさや写真の質は変わります。どのようなミラーかということ、左右の形状が違います。片方はお口が小さい方用で、日本人のお口に合わせて作られています。まだお使いでない方がいればぜひこの機会に使ってみてください。

それと、ミラーは消耗品です。長年使っていると細かいキズがつかますし、反射率も落ちてきますので、気がついたら交換してください。



# ☆I am DH☆

## ～なってよかった衛生士～

新卒で開業医に勤めて早6年目を迎えました。まだまだ未熟ですが歯科衛生士としての仕事の楽しさや奥深さを感じるようになりました。学生のとてから予防処置に興味があり、予防フロアが確立されている当院を選びました。もちろん働くうえで楽しいことばかりではありませんが、担当制で患者様を管理できること、また歯科衛生士が患者様の性格や口腔内状態をみて治療計画を作成できることが最大の魅力です。なかには改善したことを泣いて喜んで下さった方、温かいお手紙を毎年送って下さる方など、共に喜び合えること以上の幸福はないと思います。

自身が慕っている医院の先輩方にヘルスケア認定歯科衛生士の取得を勧め

られ、一番苦手と自覚していた歯周組織検査や規格性のある口腔内写真撮影が習得できたことは、自信を持てなかった私にとって歯科衛生士としての強みになりました。社会人になれば、できているのかの評価も自己流になっていくのでとてもいい経験をさせていただいたと感じます。

医院では後輩教育を任せられるようになってきましたが、人を育てるためには自分自身が知識を持って論理的に説明できなければ理解もされないのだと痛感しています。まだまだ難しいと感じることのほうが多いですが、自身の



勉強のためにも共に学び合える後輩がいることや、何も言わず助けてくれる同期、尊敬できる先輩方がいることはとても誇らしく思います。

ヘルスケアの先輩医院のように、歯科衛生士としての立場が確立されて、歯科医師からの協力や助けがある医院が今後もっと増えていくことを願っております。

(山下由佳・なかたに歯科クリニック)

# デキる衛生士の七つ道具

おい歯科 志摩裕美

一、手用スクレーターのメーカーと種類

プレミア社・グレイシーキュレットMPS 13/14 PS 13/14

ユニバーサルキュレットコンピア 13/14

ヒューフレディ・グレイシーキュレット、ミニファイブ、オリジナル11/12、13/14

LMデンタル・グレイシーキュレットミニ 1/2、11/12、13/14

マックロールミニ 13/14、コンピア 13/14、4L/4R、マック13/14

一、超音波スクレーターのメーカーとチップの種類

(白水) スブラソンP-MAX・チップ(H1、H3、H4L、R、

HLM3、HLM4L、R、HY1、PH1、#1、TK1、2S、

TK2、2R、L)

一、患者販売用歯ブラシ

GC・ルシエロ(B・10M、P・10M)ピセラ(B・20M、S、P

・20M)プロスベックプラスコンパクト、コンパクトスリム、オーラル

ケア・タフト24M、ESS、20M、17M、マミーM、S、プラウトM、

into、ミント歯ブラシ△

一、患者販売用フロス

J&J・デンタルフロス、サンデンタル・スーパーフロス、

オーラルケア・フロアーフロス、GC・ルシエロフロッサー

一、患者販売用歯間ブラシ

ルミテント、GCアングルアクア、GUM

メルサージュ・カップ、コーン、ソフトブラシ、ヤング・プロフィー

カップ、ブラシ

コンクールクリーニングジェル、プロフィーペースト、メルサージュプラス、

リナメル、Mペースト

一、上記6つの中で最もお気に入りの器材とその理由

デキル衛生士に憧れて、今ももがき続け色々なセミナーに参加してきま

した。そこでおすすめしてもらった機材や材料をいわれるがままに使ってきたよ

うに思います。そんななかでも、歯周治療、メインテナンスでかかせないア

イテムは超音波スクレーサスブラソnP-MAX、色々なチップがありますが、

HY1。シンブルな形状が好き、どの部位にも対応できるし、ポケットを

洗浄しながら、ちょっとした歯石の探知もできてお気に入りです。手用ス

ケラーでは、LMデンタルのマックロールミニ13/14。このふたつは手放

せません。あと、最近のお気に入りにはオールケアのフロアフロス、フロスな

んでどれも大差ないかなと思っていましたが、これは、切れにくく、プラ

イクがよくとれるところがいいですね。

7月中旬、中野で行われた表題のセミナーに参加してきました。中野予防歯科研究会の特別講演で、講師は景山正登先生。セミナーを拝聴して、もっと自分の臨床にこだわりを持とう！と思いました。景山先生のお話して下さった歯周治療のお話は、どれも言葉や目的が明確で、これから自分がやろうとしている治療が、果たして本当にその人に必要で、お金を払う価値のある治療なのかがしっかりと考えられていました。

「歯周治療って、難しくないんですよ」とおっしゃる景山先生のお言葉があまりにも穏やかで、そうかも?! と思えてしまうくらいでした。歯周炎の前には必ず歯肉炎があります。でも歯肉炎が全て歯周炎になるわけではありません。なので、歯肉炎の人に、このままだと歯周炎になるからとお話するのは、正しくない。歯周治療において大切なことは、プラークコントロールとSRPであり、なんのためにプラークコ

# セミナー☆まにあ



“いまさら聞けない歯周治療とメインテナンスの話”に参加して

(長山和枝・わたなべ歯科)

ントロールが必要なのが、そこに曖昧な情報は入れない。景山先生は「歯周基本治療が成功しない限り、その先の治療等の未来はない」ともおっしゃっていました。それほど、大切にされているからこそ、その気持ちが患者様にも伝わり、臨床にも反映されているのだと思いました。

診断の第一は視診が大切なので、視る目を養うために院内で歯肉が厚いか薄いかの当てっこをしたとも教えてくださいました。そのうえで、やわらかい歯肉の方は、プラコンが中途半端だと、歯肉をちぎってしまう等、治療の副作用についても勉強したそうです。

ほかにも、同じ口腔内に、厚い歯肉と薄い歯肉が混在していたら、どうするか。プラコンを徹底させた結果、器具が入らない可能性のある歯肉は、SRPの順番はどうするか等を、院内検討会でお互いにシェアするそうで、これは当院でも取り入れております。メインテナンス中、ポケットが1mm増えた! さあ、どうする?! との問いかけもあり、あっというまの数時間でした。臨床では常に疑問を持つことも大切ですね。最後に、なんのために歯を残すか、との問いかけをいただきました。これは、患者様とも共有して、臨床に活かしていきたい問いかけでした。ありがとうございました。

## デンタルオフィス 白書

椎津ゆみ



東京都小金井市 沼澤デンタルクリニック  
白衣のメーカー：上 ナガイ 5,460円 下 FOLK 4,725円 計 10,185円



気に入っているところ：スポンはゴムで着やすい、横に入ってるラインで細く綺麗に見えるところ。

細くきれいに見える、そこ重要ポイントですね♪  
みなさんとっても似合っています



夏場の暑さ対策：特にないです。冷房で調節。  
冬場の寒さ対策：スクラブ下にヒートテック等で調節。一応カーディガンもあります。



洗い方：医院で週1回クリーニングに出している。  
何枚持つてる?：上下2枚づつ あと1枚づつ増やすことになっている。  
何日着るか：1週間 ちょっと不衛生ですよ。そのためにも買い足します!



シューズ：白ナースシューズ

白衣は毎日着るもので、すぐ汚れてしまいますよね。  
白衣の枚数って、大事ですね!! 枚数を増やされるとのことで、院長先生に感謝!



—歯科衛生士として活躍している三幸様の姿をどのように感じていますか？

娘 母は、私が小学校に入ってからパートで復帰しましたが、今では家のこともしながら常勤でバリバリ働いているので、すごいな… と思います。

また、歯科衛生士という職業が好きで、楽しんで仕事をしている姿は素敵だなと思います。

—三幸様から歯科衛生士として学んだこと、印象的だったことは何ですか？

娘 基本的なことですが、「患者さんのことを一番に考える」ということです。この人には何が必要か、私には何ができるのかしっかり考えることが大切だと学びました。

—「親子だけど、これだけは歯科衛生士として負けれない！」ということはあるですか？ それは何ですか？

娘 口腔内写真や歯周病検査などの技術面では、あっという間に追い抜かれると思います。ですが、人との関わり方や人の心を大切にすること、



母

山本三幸（こんどう歯科医院）

年を重ねていくなかで培われていくものだと思いますので、そのあたりはずっと先を歩いていきたいですね。

娘 歯科衛生士としては大先輩なのでなかなか言えませんが… 「元気さ」だけは負けません！！

それから、私は子どもが大好きなので、母よりは子どもと同じ目線で楽しくコミュニケーションをとれるのではないかとと思っています。

—歯科衛生士として最もやりがいのあることは何ですか？

娘 担当患者さん（それ以外の方も）の口腔内がいい方向に改善され、QOL向上に少しでもお役に立てるようにお手伝いすることです。

## 親子で DH

娘



山本実紀（丸山歯科医院）

娘 お口を通して患者さんの人生に関われることです。また、そんな大それたことは言えませんが、患者さんに「ありがとう」と言ってもらったときはとても嬉しいですし、私と一緒に練習したことができるようになったり、実際に行動変容に繋がっていることが分かったとき、口腔内の状態がよくなったときはとてもやりがいを感ずります。

—歯科衛生士業務について現在興味のあること、これからチャレンジしたいことはありますか？

娘 先日、急性期病院の摂食嚥下療法部の部長ナースの講演を聴く機会がありました。

早期経口摂取開始により、早期離床を目指し実践していくというものでしたが、一般診療所としてどういう取り組みができるのか… というようなことも含め、摂食嚥下について勉強してみたいなと思いました。

娘 今はとにかく歯周病を治せるようになりたいです。

将来は、障がい者の方と関わったり高齢者の口腔ケアなども学びたいと思います。



## ハイジなたまご

太陽歯科衛生士専門学校の学生さんが、河野歯科医院（小平市）を見学しました。

河野歯科医院には、私自身患者としてもお世話になっています。今回、患者としてではなく歯科衛生士を目指す学生としていつもとは違った視点で、河野歯科医院を見ることができました。

まずは、患者さんの治療内容や院内の状況をスタッフ全員が把握しながら、無駄なく動いているというチームワークに感動しました。

私が一番刺激を受けたのは、予防に対する取り組みでした。患者さん一人ひとりの生活習慣や口腔内写真などを取り入れながら、じっくりと時間を取り、一緒に考え、患者さんのモチベーションの向上に繋がっています。

歯科衛生士として知識をしっかりと身につけ、日々学び続けるということの大切さを実感した一日となりました。



診療開始時間前から診療終了までの見学を、心良く受け入れて下さった河野歯科医院の院長先生とスタッフの皆様に、心から感謝しています。ありがとうございました。

（太田彩香・夜間部3年）



編集後記

【The HyG Times】第24号です。連日の猛暑にゲリラ豪雨、地域によってはかなりの被害が出ているそうですね。皆さんのお住まいの地域は大丈夫ですか？ お盆のお休みも楽しめたでしょうか？  
先日、ニュース番組で『現代人には《聴く力》がない』という話題が取り上げられていました。コミュニケーションの主要ツールがメールやLINEなどの《文字》になっているからとのこと。我々医療従事者にとって患者さんの思いを《聴く》というのは重要な業務のひとつです。《聴く力》を鍛えるためにも、もっと人と話しましょう！ 身振り手振り、リアクション。院内でトレーニングしてみるのもいいかもしれませんね☆（『ハイジなわた歯』隊長：山田美穂）  
情報提供・質問・問い合わせ『The HyG Times 編集部』：Hygtimes@gmail.com